

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のフィードバックや、行事の前後に職員間で意見を共有し日々の療育に活かしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを活用し、実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月事例検討会に参加している。研修に参加できなかった職員には、後日内容を共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			カリキュラムを作成する際には、ニーズに合っているか確認しながら、職員間で意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			探求プロジェクトでは、子ども達からNEXTでやってみたい事を募集し活動に取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と長期休暇では活動時間が変わるので、季節やメンバーに合わせた活動内容を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々のフィードバックで個々の状況に応じた対応について振り返りを行い、計画に反映している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			フィードバックで前日のことを振り返った後に、本日用活動や支援の留意点を職員間で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別に記録を残し、必要に応じ各関係機関との連携を図っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参加後内容について他職員への共有を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて行っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今後必要に応じ行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所など関係機関と連携しながら進めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近隣の公園に出かけたり、夏にNEXT教室前で七夕行事を行う事で、地域の方たちとの交流を持つことが出来た。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後必要に応じ行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時や送迎時、電話やLINEなど様々な方法を用いて様子を伝え情報共有を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要支援機関に紹介や助言、聞き取りなど行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から電話やLINEなどで相談を受け、必要に応じて面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			茶話会を開き、保護者様同士で話をする機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けている。重要事項説明書には函館市苦情受付窓口の連絡先も記載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNSを利用し定期的に活動や行事の様子を発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			大きな行事を開催する時には、各学校や関係者様、町内会にて情報をお知らせしている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時避難訓練やハザードマップ作りなどを行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修資料は全職員で共有しお互いに向上を図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			フェイスシートにて確認他、聞き取りも行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			自教室のヒヤリハットを職員間で共有するほか、事例検討会にて危険予測についての研修を受けている。